

なごら



Nagoya Nakamura Lions Club



2012.09

国際会長	モットー	「WE SERVE (我々は奉仕する)」
334複合地区	スローガン	「奉仕の世界は 熱い情熱と固い絆から」
334-A地区	スローガン	「知恵あわせ 力あわせて 感動を！」
名古屋中村LC	スローガン	「全員参加で、いつも、いつまでも」

■特集記事■

ACT報告(名古屋太閤LC合同)
『ライオンズクエストワークショップ』



■会員寄稿■

「故L和田孝四郎のお別れ会に参列して」

L高坂英夫

「生活習慣病に貢献」

L山梨一美

頁 記事

02	❖ 前回理事会事項と結果
02	❖ 前月例会報告
05	❖ 前月委員会報告、幹事報告
05	❖ 会員情報
06	❖ ACT報告
06	❖ 会員寄稿 / L高坂英夫
06	❖ 会員寄稿 / L山梨一美
08	❖ 次回例会案内

1. 理事会審議事項と結果

(第1号議案) 前回理事会議事録確認 《承認》	会 長 P. 2-3	L 野々垣徹
<p>その他のところでご承認頂きましたTTよりの提案ですが、重要だと思しますので確認の意味でここで申し上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例会の時に携帯電話をマナーモードにして頂く。 ・ 例会の発表中に私語を謹んで頂く。 <p>以上を守れなかった方からは、ファインを1,000円頂きます。</p>		
(第2号議案) 前期決算の件 《承認》	前財務委員長 別紙資料	L 中野利彦
<ul style="list-style-type: none"> ・ 残高の処分案について繰越金を全部財政安定基金に入れているが事業費の残高は事業費の前期繰越金にした方がいいのではないか。 ・ 例会費の赤字は繰越金で埋めて、無くしたほうが良いのではないか。 ・ 前期の決算については資料の通りとし、上記の点については今期の理事会の中で検討をして行く。 		
(第3号議案) 前期決算監査の件 《承認》	前会計監査 別紙資料	L 服部吉秀
(第4号議案) <8/1>8月第一例会30分延長の件 《承認》	計画・大会委員長	L 吉金 博
(第5号議案) <7/10>「Hot・ほっとキャンペーン」決算の件 《承認》	社会福祉・公衆安全委員長 P. 4	L 浅岡晃生
(第6号議案) <7/6>薬物乱用防止教室決算の件 《承認》	YCE・青少年指導委員長 P. 5	L 村手 誠
(第7号議案) その他		

2. 例会報告

第 943 回 例会

2012年 8月 1日(水) 18:00 ~ 19:30
於：名古屋マリオットアソシアホテル

出席者数： 30名
ファイン・ドネーション： ¥415,500-
～愛知ひまわりLC合同例会～

* 理事会審議事項議案を承認可決

2012/8/1(水)は名古屋中 村LC第943回の例会。本日は第227回例会の愛知ひまわりLC様をお招きしての合同例会となった。

名古屋マリオットアソシアホテル17F『ルピナス』が会場。18:00かっきり実行委員L吉川正洋の司会で、本日30分間の延長が報告され即承認。

『開会の宣言』並びに『開会のゴング』名古屋中村LC会長L野々垣徹と愛知ひまわりLC会長L原馬公子が進み出て開式となる。

厳かに『国旗に対し礼』『国歌斉唱』と続き、名古屋中村LC計画・大会委員L杉山信子による『ライオンズの誓い』。静寂な時空に優しくも力強い言葉が響く。

『我々は知性を高め友愛と相互理解の精神を養い平和と自由を守り社会奉仕に精進する』

ライオンズクラブの歌も終わり会長挨拶L野々垣徹。

『今回この用に和気藹々で賑やかな合同例会を開催出来たことに大きな喜びと感謝を申し上げます。ワークショップで愛知ひまわりLC前会長L川澄晴子と知り合い、意気投合しクラブ訪問に進み、現在のつながりに至ったことに深い縁(えにし)を感じます。今後とも宜しく願いしたい』

続いてL原馬公子の会長挨拶。

『合同例会が相互理解の絆によってクラブ間の融和をはかることにもなり楽しみにしています。今後とも友情をお願いし貴クラブのご発展をご祈念申し上げます』



報告事項へと進み名古屋中村L前会長L大竹昌より2011年度100万本植樹キャンペーン参加賞バナーパッチの伝達があり、前期決算の件は財務委員長到着を待ち[議事審議事項]へ。

野々垣会長が議長を務め一括審議。「7/10 Hot・ほっとキャンペーン決算の件」「7/6 薬物乱用防止教室決算の件」を承認する。

次に1R環境保全委員L瀬尾昌信からの報告。10/2に環境保全セミナーを開催するので各LCより3～4名の出席要請があった。

[委員会報告]として前期YCE・青少年指導委員長L村手誠が「6/22 2011年度第2回1R YCE担当委員長会議」の報告を行った。

今期も委員長に留任のため、引き続き「2012～2013年度冬期YCE派遣申込予備調査について」と「2012年度ライオンズクエストワークショップ開催について」本年8/27～28に日比津中学校で名古屋で最初に開かれること、1R YCE受入クラブは名古屋太閤LCが担当となったこと等、全てに詳細な資料が添付されております。



次に進んで愛知ひまわりLC四献委員長L早瀬麗子より9/15「さい帯血を知ろう」について説明があり、資料も配布され知識を得た。

[幹事報告]L入山毅士、L高木玲子両幹事による元気な報告。

[誕生日のお祝い]名古屋中村LCはL水谷賢治、L加藤鋭吉、L大場民男3名、愛知ひまわりLCは4名、それぞれ両クラブ会長より誕生祝いが手渡された。

[テールツイスター登場]でL高坂英夫、赤いタスキがよく似合うL彦坂紀都の口上もあり楽しいひと時。

本日の出席率報告は名古屋中村LC会員委員長L速水清朗『85%でした』。愛知ひまわりLC出席副委員長L川村典子のご当番『出席率は次回に』ご報告！

本日の会計報告は次回に送り、ライオンズローアに名古屋中村LC接待委員長L斎藤靖人、愛知ひまわりLCのL齋藤都奈美、両サイトウで一声『ウォー！』

閉会のゴング第二副会長L中山恭三、第一副会長L二ノ宮眞佐恵が最後を締めた。

尚、財務委員長L中野利彦より前期決算の詳細な説明と報告がなされ前期決算監査のL服部吉秀より監査報告があり、これを承認した。詳しい収支報告が添付されています。



記: L 上野元嗣



毎年この時期には、ガバナー公式訪問例会が昼例会として開催されますが、ガバナー公式訪問の目的は、国際会長のメッセージとガバナーの地区方針を発表する場です。

今期の地区ガバナーである L柴田富志夫 の挨拶からこの2点について報告致します。

1. 国際会長のメッセージ

今期の国際会長はウェインA・マディン、インディアナ州の生まれで、彼の主要テーマは

「奉仕の世界」

国によっては様々な問題を抱えているが、献身的奉仕を行うことと、それが世界中に奉仕の輪が広がることを願う。このためには、会員増強と識字率の向上が重要である。

会員増強は、奉仕の輪を広げるためには絶対必要である。

元会長のKKフクシマは、セミナーで、「今迄会員は会員増強に比較的非強力な面があったことを反省し、ワークショップ等を通じて会員増強に協力してほしい。」

と発信したが、今期の重点課題でもある。

識字率の向上は、現在、10歳程度の読み書きができない人が世界で10億人、人口の26%いる。これは4人に1人の割合である。

識字率の向上は、LCが貢献できるアクティビティである。

※国際会長が生まれたインディアナ州は、「インディアナポリス500マイルF1レース」がある。これに勝利するには、準備(会員増強)が必要であり、3ヶ月に一度はピットインしてクラブを点検する必要があり、ACTの進捗状況を確認する等、自動車レースに例えて興味あるアドバイスをし「LCIFのグローバルな活動に対し協力して欲しい」とのメッセージである。

2. ガバナーの地区方針

2023.7. 5～9は、独. ハンブルグで第96回のLC国際大会が開催され、この2日目に第二副会長が及び国際理事が指名され、3日目に選出結果が発表される。選出する代議員の派遣費用を334-A地区として援助したいことと、是非日本から国際会長を選出することがガバナーの地区方針であることの報告がありました。



次に、元国際理事のL栢森新治の挨拶を紹介します。

報告事項

334-A地区1R2Zから次期ガバナーとして名古屋中村LCと名古屋太閤LCから2名の立候補者がでしたが、選挙の結果、名古屋太閤LCのL加藤が選出されました。

要望事項

国際会長の選出方法は、各クラブの会長の選出方法と全く同じで、2月に指名委員会での指名を受けたのち、3月に候補者発表、4月に選挙を通じて決定されるが、国際会長の場合は直接選挙ではなく代議員選挙のため、代議員の旅費・交通費等がかなり負担となります。そこで、各クラブから1万円/1人負担して是非日本から国際会長を選出することにご協力ください。

代議員は、25会員又はその過半数毎に1人の割り当てがあり、334-A地区は、全国で3番目に人数の多い地区であり、代議員も多く貢献できるよう頑張りたい。

日本の立候補者は、山田實紘国際理事会アポイントイーで、彼は指名委員会での指名を受けたが、欧州人が対立候補として名乗り上げることが予想されるため、各クラブ一丸となり協力体制を取るよう要請がありました。

※本日のガバナー公式訪問例会は滞りなく行われ、予定の14:00より若干早く終了しました。

記: L 中山恭三

3. 各委員会からの報告/幹事報告 等

報告事項

1) リジョン環境保全委員からの報告

1R 環境保全委員

L 瀬尾昌信

- ・ 10/2にセンチュリーホールで334-A地区の環境保全についての活動報告をセミナーとして行いたい。各リジョンで代表的なものを発表する。
- ・ 環境保全の写真コンテストを行います。応募は12月中旬締切予定です。

2) <6/20>2011年度第2回1R YCE担当委員長会議報告

前YCE・青少年指導委員長

P. 6-9

L 村手 誠

- ・ 派遣生と家族のオリエンテーションの登録費用2名分をリジョンで負担していましたが、今後1名とします。
- ・ 派遣生の渡航費用の概算額を派遣前に入金して下さい。

3) 2012～2013年度 冬期YCE派遣申し込み予備調査について

YCE・青少年指導委員長

P. 10-11

L 村手 誠

申込は8/9までをお願いします。

4) 2012年度ライオンズクエストワークショップ開催について

YCE・青少年指導委員長

8/27～28 日比津中学校

P. 12

L 村手 誠

名古屋で初めてで、名古屋太閤LCと合同で行います。

幹事報告

1) 2012年度上半期会費及び会員預託金請求について

前回不手際がございまして申し訳ございません。今回請求書が入っておりますが、なるべく早くお振込下さい。

2) <8/21>8月第二例会について

ガバナー公式訪問。受付:AM11:45、開始:12:15 場所はキャッスルプラザです。

3) 事務局夏期休暇

8/13(月)～15(水)

何かある場合は、幹事の方へご連絡下さい。

その他

- ・ 9月第二例会でLCIFを一緒に行うのは無理なので、10月の第一例会に変更します。
- ・ 10月の第二例会は名古屋太閤LC合同例会で10/17(水)に変更します。

4. 会員情報

★ お誕生日 ★

9月 2日 L 入山毅士
9月 18日 L 服部吉秀



★ 結婚記念日 ★

9月 13日 L 大藪城正 LL 敬子



☆ 趣味部会 / 2012年度 第1回ゴルフ部会

《2012/8/7 於:桑名カントリー倶楽部》 ☆



1位 L 鈴木和彦
2位 L 高坂英夫
3位 L 中川法恵
5位 L 中山恭三
7位 L 瀬尾昌信

BB L 吉金 博
BG L 中川法恵



5. ACT報告

8月のACT

- ◆ 8月21日(火)
1R2Zガバナー公式訪問記念 合同ACT 35,714 円
ボーイスカウト・ガールスカウト助成金
於: キャッスルプラザ

- ◆ 8月27～28日(月・火)
名古屋太閤LC合同ACT ライオンズクエストワークショップ (未確定) 円
於: 日比津中学校
出席者数: 10名 ※延べ人数



6. 会員寄稿

『松本中央LC 故L和田孝四郎のお別れ会に参列して』

L 高坂英夫

2012年8月26日(日)13:00より松本東急ホテルにおいて開催されました。
松本中央LC会長L堀内周次会長(お別れ会の実行委員長)の挨拶、黙祷後、
334-E地区の山下ガバナー、同宮下元ガバナーの弔辞、参加者48名全員で献花
を捧げました。

その後、故L和田がデクバーヘガバナーとして国際大会
参加された赤のネクタイ、白の背広でダンディなお姿の写
真、クリスマス例会へ夫婦で参加されたにこやかな写真等
がメモリアルビデオで放映され、元キャビネット幹事L岩
城詢が説明役をこなされました。

弔電披露、L丸山元ガバナー献杯、懇親会、故元ガバナーLL和田美治代が
年齢を感じさせない確りした声で感謝の挨拶をされ、松本中央LC会計L小笠
原守の閉会の言葉で散会となりました。

尚、当クラブより会長L野々垣、CN40周年大会委員長L鈴木、同ACT部会
長L高坂が参列、供花を出しました。



『生活習慣病に貢献 ～活性酸素が生体に及ぼすメカニズムを解明～』

保健奉仕・環境保全奉仕副委員長: L 山梨一美

生体物質の生化学一般。活性酸素、フリーラジカルによる生体の障害とその防御機構、抗酸化物質
による遺伝子発現制御など多角的な研究を行っている医学博士野口範子教授の研究が“リエゾン
ニューズレター”VOL 12に紹介されていました。動脈硬化に関わる話で保健上参考になると思いそ
の一部を要約させていただきます。

ビタミンEの効果に注目して、酸化ストレスを撃退

近年、動脈硬化やガンなどさまざまな生活環境病を引き起こすといわれる“酸化ストレス”の研究に注目が集まっている。生体は酸化-還元状態をバランスよく保っているが、活性酸素やフリーラジカルと呼ばれるものが過剰に存在すると酸化ストレスを生じる。普通、化合物を構成する原子や分子は対をなした電子を持っているが、フリーラジカルは対をなさない電子(不対電子)をもつため不安定で、脂質やたんぱく質、DNAなど身体にとって重要な物質を攻撃し、その電子を引き抜いて安定化しようとする。活性酸素とは、私たちが呼吸で使う酸素よりも活性度の高い酸素分子やそれを含む化合物の総称で、その中にはフリーラジカルであるものとそうでないもの両方が含まれる。活性酸素やフリーラジカルは細胞内でも生成されるが、タバコの煙や排気ガスの中にも大量に存在し、また、紫外線などが体内に吸収されたときにも活性酸素が発生することが分かっている。まさに、私たちは常に酸化ストレスの脅威にさらされていると言っていいたろう。

野口範子教授は、動脈硬化の成因の1つとして活性酸素に着目。製薬会社などの産学連携によって、そのメカニズムを解明しようとして取り組んでいる。活性酸素によって酸化された“LDL(低比重リポタンパク)”が血管の内皮細胞(血液に接している細胞)を刺激すると、酸化LDLを排除しようとする細胞(単球)が誘導されマクロファージとなって酸化LDLを取り込み細胞内に脂質をためこむ。それが血管の内膜に蓄積、動脈硬化を引き起こす原因になるという(酸化仮説)。「LDLを攻撃する前に活性酸素を捕捉し、酸化の連鎖反応を止めようと考えました」。野口教授が白羽の矢を立てたのが抗酸化物質。天然に存在するものとしては“ビタミンE”である。ビタミンEは、自分の電子を活性酸素やフリーラジカルに与えて安定化させるとともに、もう一つのラジカルと結合することができる。その一方で、ある特定の条件下(活性酸素に比べて、ビタミンEが極端に多い場合など)では、ビタミンEそのものが酸化の引き金になってしまう可能性も指摘されているという。

野口教授はビタミンEの構造をもとにして、「より素早く活性酸素と反応し、しかも自分が毒性を持たないような安定的な抗酸化物質の研究に力を注ぎました。またラジカルの(捕捉)安定化以外の作用メカニズムをもつ抗酸化物質の酸化抑制作用をも研究するなかで、動脈硬化の発症メカニズムに近づくことができると思います」と話す。今後、動脈硬化を予防する新薬開発に向けて期待が寄せられている。

動脈硬化がなぜ発生するのか、遺伝子レベルで科学的に検証

野口教授が力を注いでいるのが、“シアー・ストレス(内皮細胞にかかる血流のずり応力)”と動脈硬化の関連を解明することである。動脈硬化は血管のどこにでも発生するのではなく、川の流と同じように、血管が分岐している部分や曲がった部分など、血流が乱れている(乱流)箇所に比較的できやすい。その反面、血液がまっすぐに流れている(層流)箇所にはできにくいという。

野口教授は医療機器メーカーと共同で、人工的に血液の流れを作り出す「フロー式混合培養装置」を開発。装置内で血管の内皮細胞を培養し、動脈硬化が発症しにくいとされる層流状態を再現、このとき内皮細胞がどのような遺伝子を発現しているかを解析した。さまざまな条件化におかれた細胞の遺伝子発現応答を網羅的にみることができるといふ。

層流にさらした内皮細胞の遺伝子を解析した結果、「酸化ストレスに対して、細胞を防御するような抗酸化たんぱく質が誘導されていることが分かりました。また、これらのたんぱく質は1つの転写因子に制御されていることが知られています。」と野口教授。内皮細胞が層流にさらされている血管部位にはなぜ動脈硬化が発症しないのか、科学的見地から検証に成功したもので、内外から高い評価を得た。「転写因子の活性を高めるような化合物を設計して、乱流部分の内皮細胞に与えてやれば、動脈硬化の予防に役立つのでは……」と将来の研究に自信をのぞかせる。



環境への適応をキーワードに、酸化ストレスとの共存を研究

現在、野口教授が抗酸化物質として最も注目しているのが「生姜に含まれるある抗酸化成分」である。産学連携による研究で解明を進めたもので、生姜成分中のいくつかの化合物とそれらの修飾化合物について検証した結果、ラジカル捕捉能を示す構造と、細胞の防御機能を高めるような転写因子を活性化する働きをもつ構造をそれぞれ特定できた。「昔から、生姜は解毒や消炎、美肌に効果があると言われていました。天然化合物なので、安全・安心。いくつか面白い研究成果も生まれています」と笑顔を見せる。

野口教授は、“環境への適応”を1つのキーワードにしながらかつ実証を進めていくことにしている。「薬を飲まなくても健康を維持できるような、酸化ストレスと共存できる生体防御システムを解明したいですね」と意欲を語る。今後、社会システムやライフスタイルが多様化し、酸化ストレスに起因するさまざまな障害が増大すると予測されている。“医学”と“環境”2つの視点を持った野口教授の工学的研究が、まだまだ未解明部分の多い生体メカニズムにメスを入れ、私たちの豊かな暮らしに活かされることが期待されている。



野口 範子 (のぐち のりこ)
同志社大学 生命医科学部 教授

“リエゾンニュースレター”
同志社大学の産官学連携機構である“リエゾン オフィス”の機関紙

7. 次回例会案内

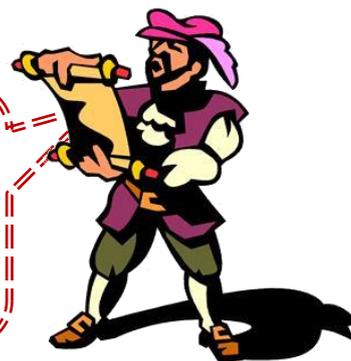
第 945	◎ 例会	会員増強例会
2012年 9月 19日(火)	18:00 ~ 19:30	於: 名古屋マリオットアソシアホテル

第 946	◎ 例会	LCIF例会
2012年 10月 3日(水)	18:00 ~ 19:30	於: 名古屋マリオットアソシアホテル

第 947	◎ 例会	名古屋太閤LC合同例会
2012年 10月 17日(火)	18:15 ~ 19:30	於: 名古屋マリオットアソシアホテル

✦ PR・IT委員会よりメンバーの皆様へ ✦

PR・IT委員会ではメンバー各位からの投稿をお待ちしております
旅行記・随筆・短歌・俳句・クラブ運営・ACTに対する意見、
その他何でも結構です
楽しい会報が出来ますよう、ご協力をお願い申し上げます



2012年度会報誌 9月号	2012年 9月 5日 発行
ライオンズクラブ国際協会334-A地区1R2Z 名古屋中村ライオンズクラブ	会 長 ◆ 野々垣 徹
〒460-0003 名古屋市中区錦3-8-14 名電ビル4F	第一副会長 ◆ 中川 法 恵
http://lions-c.jp/nakamura/	幹 事 ◆ 入山 毅 士
	会 計 ◆ 瀬尾 昌 信
	PR・IT委員長 ◆ 服部 吉 秀